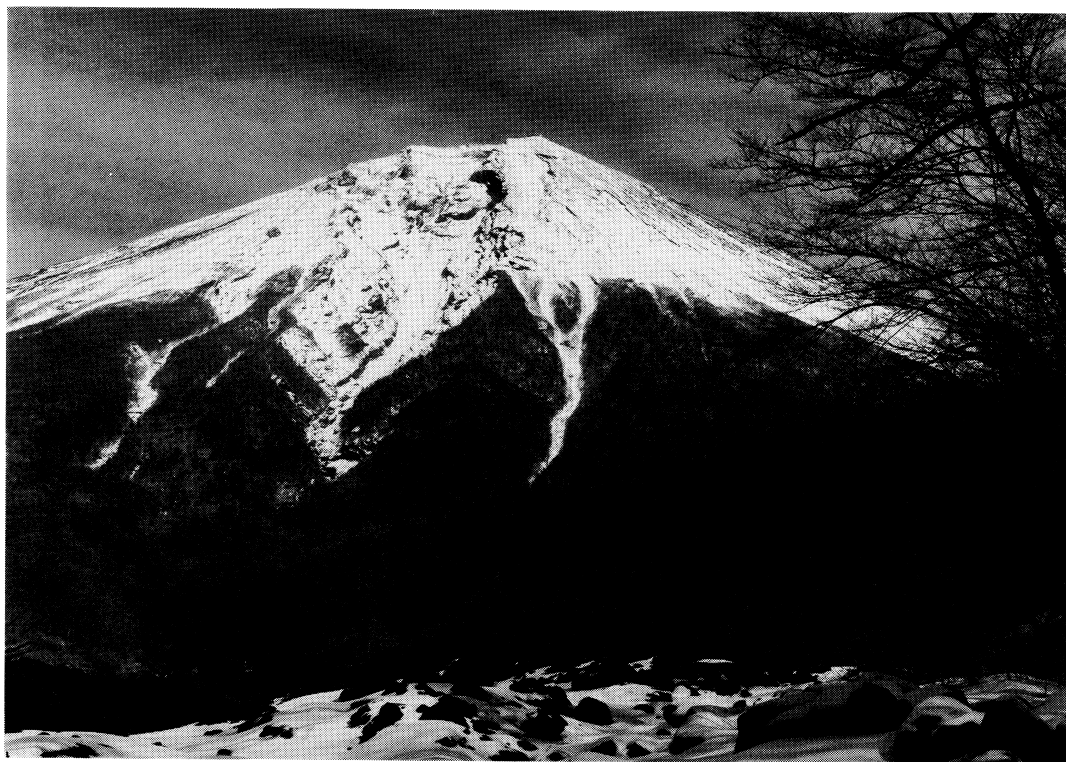


中央大学理工学部電気電子情報通信工学科

同窓会々誌



撮影 大越 功

2003-10

40号

平成15年度総会・懇親会は11月8日（土）

2003年10月 第40号 目 次

会長挨拶・	天野 浩志	3
定年退職とその後・	猪狩 武尚	4
同窓会新規入会者のご紹介・		5
本学の教育に関する私見・	築山 修治	7
会誌発行事業費・終身会費の集計報告《その2》・		10
計報・		10
新3号館にモニュメント時計を寄贈・		11
平成13年度 会計報告・		12
平成14年度 会計報告・		13
同窓会 役員・常任幹事・幹事 一覧・		14
東京電力の「電気の史料館」紹介・	田口 昭夫	15
市川山荘訪問記・	菅原 正人	16
トドの詰まり文化論・その7・	菱沼 一夫	17
第1期生の同期会・	永井 俊一	25
第1期生の近況《抜粋》・		28
昭和40年卒同期会・	井上 哲也	30
同窓生からのお便り・		31
編集後記・		35
同窓会総会・懇親会開催のお知らせ・		36



ごあいさつ

会 長 天 野 浩 志

同窓会会員の皆様、お元気にご活躍のことと拝察申し上げます。

同窓会は、かねてから財政危機に瀕しておりましたが、一昨年の会誌で皆様に御芳志をお願い致しました「会誌発行事業費」の御納付につきまして、その後も散発的ではありますが、皆様の御協力を頂き、危機を脱出できる財政状態にまで回復しましたことを感謝申し上げます。

尚、「会誌発行事業費」の納付状況ならびに御協力戴きました方々の御芳名は随時「同窓会ホームページ」を更新してお知らせしております。

学科の動きをいくつかお知らせ致します。

本年6月30日に、榊原剛教授がご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

教育技術員関係では、3月末日をもって、関口秀紀氏、天野浩志が退職し、4月に佐藤信夫氏、稲田安彦、鈴木一吉氏が赴任されました。

理工学部動きとしては、14階建ての新3号館が竣工し、新棟に本学科では遠藤研究室、稲葉研究室が入り、他に情報工学科、中大高校、学生生活関連施設、その他が移転しました。

従来、情報工学科に貸していたいくつかの部屋が戻り、教授室・研究室の移転も済み、いくらかは従来の狭雑さが解消されました。

また、新棟1階ホールには、理工学部8学科同窓会が共同で、モニュメント時計を寄贈し、5月24日に阿部理事長、常任理事のご臨席のもと寄贈式が行われ

ました。皆様も大学へ行かれることがありましたらご覧下さい。

11月8日(土)午後2時から、同窓会総会・懇親会が開催されます。詳細は、巻末の開催案内をご覧下さい。今年は、例年と異なり東京電力様のご好意により「電気の史料館」での開催となりました。別掲のご案内の通り、早めに会場へ行かれて見学することをお勧めします。

ここ数年、総会を機会に同期生が集まり、「同期会」を開催する機運が広まっております。

未だ、同期会を開いていない卒業年度の皆様、今年こそ同期会を開いてみませんか？

同窓会では、名簿データベースを充実させており、同期会の開催に際して便宜を図る用意がありますので、事務局にご一報下さい。

本年も昨年の会誌に掲載し、好評を頂きました「同窓生からの便り」を掲載しました。今後も続けて行きますので、「返信はがき」に「お便り」をお書き下さい。1年後の掲載となりますが、会誌の目玉となるよう皆様と一緒に育てていきたいものです。

同窓会ホームページも更に充実させ、全同窓生への情報発信の場としていきたいと考えております。同期会・研究室OB会等で、ホームページを開設している場合は、内容を審査の上、リンクしますのでURLを事務局までお知らせ下さい。

(昭和39年卒)



名誉教授 猪 狩 武 尚

昨年（平成14年）3月、昭和30年以来47年間勤務した中央大学を無事定年退職することができました。長い間お世話になった中大教職員の皆様、卒業生の皆様に深く感謝しております。

昨年1月には、大学の慣例による「最終講義」を理工学部5534号大教室で開催させていただき、引き続き電気電子情報通信工学科主催によって市川友之先生と私に対する退職記念パーティーを開催していただき、多数の教職員の皆様および大勢の卒業生の皆様のご参加をいただきましたことを厚くお礼申し上げます。

昨年3月には、理工学部教授会からの推薦に基づいて「中央大学名誉教授」の称号をいただきました。今後、勤務先名の代わりに、この称号を使うこともできますので、有難く思っています。

私の退職に際し、電気電子情報通信工学科の教員数が大学で新たに定めた数を上回っていたために後任教員の補充ができず、「電気機器」の講義は国井助教授と慶応義塾大学の沢教授に担当していただいております。

昨年4月から無職の年金生活に入りましたが、まもなく体調を崩し、6月には重症の肺結核で千葉県知事の収容命令により国立療養所千葉東病院に入院、大変親切な医師、看護婦さんたちのお世話になり、10月

から自宅で服薬治療を続け、今年の3月で治癒となりました。結核に対する免疫は五十年で消失するといわれており、急激な体重減少（私の場合は一週間で七キロ減）が老人性結核の特徴だそうです。退職直前の研究室整理などによる苦労が続いたための病気の再発のようです。

体力もかなり回復しましたので、30坪あまりの畑での無農薬の野菜作りを再開しています。じゃがいもは草取りの必要がなく、病虫害もほとんどないので楽ですが、とうもろこしは実が甘いのでいろいろな虫に食べられます。その他の野菜は頻繁な草取りが必要です。

もっぱら晴耕雨読というわけですが、昨年、電気学会電気規格調査会（JEC）の回転機標準化委員会委員長、電気施設管理に関する国家試験委員会の委員を退任しましたので、その分だけ自由時間が増えています。

今年は、中央大学の「電気電子情報通信実験2」の実施時間に数回顔を出しました。学生に対する実験指導は教育技術員と大学院生が熱心に行ってくれていますが、私もほんの少しは役立ったかと思っています。在職中、電気機械の特性解析のための基礎理論の改善に力を入れて来ましたが、まだやり残した課題がいくつかあります。今後もそれらの検討を行って、有益な結果が得られれば、電気学会の回転機研究会で発表し

たいと思っています。

電気学会の今年の産業応用部門大会は8月末に八王子市の東京工科大学で開催されますが、その際私に「産業応用部門特別賞（学術賞）」を授与して下さいという通知がありました。この賞の趣旨はまだよく分かりませんが、私の回転機に関する著書、論文、かつての回転機技術委員会委員長としての活動を評価してくれ

たものようです。部門役員の方々の折角のご好意ですので、有難く頂いてこうと思っています。

最後に、同窓会の皆様のご健勝とご発展を心からお祈りして筆を擱きます。

平成15年8月

E-mail ID：igari28@kojima.net

同窓会新規入会者のご紹介

平成15年4月10日現在

研究室名	新規入会者のお名前（敬称略）
稲葉研	梅本義孝
遠藤研	佐々木大輔 池田和明 青木雄祐 蠣崎紀子 川端 慶 平林思問 鈴木 順 大山雅弘
木下研	鈴木省司
國井研	永塚真吾 武藤保正
小林研	内田泰徳
榊原研	篠田竜一朗
篠田研	木村亮太
白井研	前川佳之 若林弘隆 鈴木雅史 佐藤芳剛 島田 実 佐原直宏
杉本研	山田一之 *川島 楠 *清沢浩康 *佐藤紳悟 *寺村 怜
高窪研	
趙 研	*金 鐘大
築山研	原田英治 榊原孝夫 飯田 充 富田雅彦 鈴木孝典 柳平康輔 笠間信一 星 和宏 青木常真 和泉 亘 *谷 丈二郎 *平松玄大 *張 艶争
徳丸研	清宮裕之 久保謙治 近藤大樹
山村研	
合 計	43名

*印：大学院終了生あるいは在学中

1. はじめに

世の中を眺めてみると、治安の悪化や凶悪犯罪の若年齢化、長引く不況に構造改革の遅れなど、暗い話題がまず目に付く上、成果主義だ評価だなどと、何やら息苦しさだけが増しているような昨今です。しかし、まだ世界と十分渡り合える技術力と人材を誇る我が国ですから、持ち味を生かしながら得意分野を伸ばしていけば、明るいシナリオを描くことも可能です。

そのような希望の出るシナリオの一つをとの思いから、本稿では、電気電子情報通信工学科の最近の動向、特に新カリキュラムに伴う新しい試みについて書く予定でした。

また、昨年度この会誌に、牧野・篠田の両先生がJABEE（日本技術者教育認定機構）の審査について書かれていますので、それを受けて、本学科が JABEE 受審にどのように取り組み、どのような教育体制をとろうとしているのかについても触れるつもりでした。

しかし、本学科が提案した新カリキュラムに伴う改革案が学部教授会で承認されておらず（7月末現在）、少々流動的な面があります。従って、それについては書けませんので、既に決定したことだけを報告することになると紙面が埋まらず、面白みに欠けます。そこで、天野同窓会長のお許しを頂き、表記の題目について書くことで原稿提出の義務を果たすことにします。

2. 学科の概況

私見を述べる前に、学科の情報をいくつか報告しておかねばなりません。

一つは、榊原剛先生が6月30日朝に急逝されたことです。胃ガンで、闘病生活は昨年より続いていました。元々体力のある先生でしたから、この間も大学に来られ、講義もなさって居ました。頭の下がる思いです。多くの逸話をお持ちのユニークという言葉がびっぴりたる先生でしたから、本学科としても極めて残念です。ご定年の2年前でした。心よりご冥福をお祈りしたいと思います。

もう一つは、既にご存知かと思いますが、我が国の重点的研究拠点を選ぶ21世紀COE（Center Of Excellence）の一つとして、情報工学科の辻井先生をリーダとする『電子社会の信頼性と情報セキュリティ』が採択され、これに、本学科から篠田、趙、山村、白井の各先生が参画されていることです。ちなみに、情報・電気・電子の分野において、COEとして採択された研究は全国で20件しかありません。中大からこの分野における世界的研究成果が発信されることを期待すると共に、皆で応援しようではありませんか。

なぜなら、このような世界的研究の一端を本学科の学生が担うことになれば、それは、その学生にとって極めて価値ある経験となると共に、そうでない学生にとっても、このような研究を行なう先生・先輩・同僚と親交を深める機会を得ることは、極めて有意義であるからです。同様な意味で、我々教員は、各自の研究分野において最先端の研究に取り組み、チャレンジ精神や研究のやり方を学生に見せることにより、全学生に有意義な大学生活をおくらせたいと考えています。いずれ卒業生の何人かが我々を追い越し、社会に、そして後輩や同窓会諸兄諸姉に対して、よりインパクトのある成果を出してくれることを期待しながら。

旧高電圧実験棟の地下化と地上の高層化を図った新3号館が3月に落成しました。

その他、学科の検討課題として、
☆将来構想・研究分野の構成志向と教員募集
☆新カリに伴う改革案・コース制の導入計画案、
及び、新実験体制
等々があります。

3. 大学教育の目的

さて、大学教育の目的を考えてみることから始めますが、どうも、本学科の入学生が大学に求めているものは、私が目的と考えているものと違っているようなのです。例えば、昨年度、私が補習授業において、『これから、最近のデジタルLSI設計において重要な遅延の話をするが、これは試験には出ない。従って、聞きたい者は帰っても構わない』と言ったら、約9割の学生が帰ってしまったのです。私は、数名は帰るかなと思しながら言ったのですが、まさかと吃驚落胆すると同時に、余計なことを言ってしまったと後悔しました。

また、私が監督をしたある試験（全4問）の中に、『残差の2乗和を最小にする値は平均値であることを示せ』というような問題がありました。試験開始後30分を過ぎると退出者が続々でてきたのですが、70弱の受験者の中で上記の問題を解いた者は一人も居ませんでした。この問題の意味を式に書き表すことができれば、下に凸の2次式になりますから、中学生でも最小にする値が何か示せます。今まで、何を勉強してきたのかと考えてしまいますが、それより残念なのは、試験時間が30分も残っているのに、多くの学生がこの問題を考えようとしなかったという現実です。

この問題が難しく、全く分からなかったのか、他の問題をやったので、もう十分と思ったのか、証明や説明をする問題ができないのか、やりたくないのか、何が真相かは分かりません。しかし、より完璧にしてや

ろうとか、最後の最後まで諦めないで努力しようとか、考えないのでしょうか。またまた、『何を考えとんじや』と言いたくなります。

学生がこうなったのは、社会が裕福になってしまい、我々大人が苦勞することの価値を教えるよりはむしろ楽をすることばかりを見せてきたことや、高校までの教育の影響など、幾つかの複合的な原因によるものなのでしょう。しかし、最後の最後まで諦めないで努力しようと考えない学生に日本の未来は託せませんし、そのような人材ばかりであれば希望の出るシナリオは描けません。

人は生まれたときから様々な教育を受けます。それらを通して判断力・思考力が磨かれ、生きて行くための知恵が身に付きます。生まれてしばらくは遊びを通して学び、学んだことが自然に生きる知恵になるのに対し、小学校位から、学びは勉めを強いる勉強になり、大半の者は、原理、法則、規則、規律などを覚えることに時間を費やし、何のために学んでいるのか分からなくなるようです。

大学入試では、これら原則などをどれだけ覚え、試験時間内にどれだけ応用できるかを調べていますから、高校までの教育はどうしてもこれへの対応に向かわざるを得ません。従って、極論すれば、大学入試の為に、予備校を含む高校までの教育が、理解力と短時間での解答能力という基準で学生の能力を測り、偏差値で一元管理するようになってしまったと言っても過言ではありません。

もちろん、社会においてもこれらの能力は必要ですが、工学や技術の世界では、1時間で答えを出さねばならないことなど稀です。それより、社会的・経済的影響等も考慮しつつ様々な trade-offを解決しなければならないのが工学ですから、物事を様々な角度から見ることができる多面的な視点や、物事を決断するための判断能力、さらにそれらを根気良く活用し続ける忍耐力などがより重要なのではないのでしょうか。

大学では、大学入試に備える必要は無いわけですから、高校までの教育から決別し、上記の能力を磨かせることを目的としなければなりません。それを、専門的知識を題材としてやるのです。しかし、初めに示したデジタルLSIにおける遅延の例から分かるように、本学に入学する学生の多くは、そうは考えていないようです。恐らく、しっかりとした勉学意識を持って入って来る学生は少なく、持っていて日々の講義の中でそれが希薄になってきて、いつの間にか試験でそこそこの成績を取り、卒業できればよいと考えてしまうのでしょう。

しかし、学生は言えば分かります。さすがに、『君は何故勉強するのか』という問に真面目に取り組まないような学生は本学には居ません。先ほどの遅延の講義にしても、今年度は、大学で何を学ぶべきかという話をし、その後同じことを言ったのですが、今回は誰も出て行きませんでした。（しかし、講義した内容に対しては半分近くが途中で挫折していましたので、来年度への検討課題ができてしまいました）

4. 研究者による教育

では、上記の目的を達成するにはどのような教育をすればよいのでしょうか。もちろん、それは卒業研究において、教員との対話を通して行なうのですが、それで終わってしまつては、話が続きません。講義なども変えることはできないのでしょうか。

学生が勉強嫌いになる言い訳に使う常套句は『何の役に立つのか分からないので、面白くない』であり、先生はそれに対して『できるだけ実用の話をして、学生のやる気を起こさせるようにしましょう』と言いつづけています。しかし、大学は役に立つことだけを教えるところなののでしょうか。そうだとすると、専門学校の方が、様々な職種において、現在利用されている実践的な役に立つ知識を教え、それを通して上記の能

力を磨かせているでしょうから、大学より強力かもしれません。しかし、専門学校の講義には、次に述べるような研究的な要素が少ないのではと思うのです。

大学が研究も行っているということは、大学は、現在役に立っていることが将来役に立たないかもしれない、役に立ちそうもないことが将来役に立つかもしれないから、いつも何かに役に立てられないかを自分で考えろと教えるところなのです。

さらに、原理原則を教えながらも、その問題点・限界について言及し、学生に疑問を抱かせ、それらが間違っていることも想定して研究せよと教えるところなのだと思うのです。しかし、教えたことが間違っているかもしれないと考えろと教えるのは、極めて不条理な話で、高校までのあるいは専門学校の教育と異なります。大学教育の目的には、このような不条理を教えることもあり、これを、自信を持ってやれるのは研究者だと思ふのです。

このような不条理を理解できる学生は、社会の多様性や不条理性に耐え、新分野を一人で開拓して行くこともできるはずです。

しかし、このような不条理を教えるという教育姿勢は、何が正しいのか分からなくなって不安になったら、自分で分かるように研究しろという姿勢に近いですから、どちらかと言うと研究者育成型の大学教育です。このような分からなかったら自分で考えろという姿勢は、本学のように多様な志向を持った学生の居るところでは好ましくない可能性があります。例えば、弁理士や公務員志望の者にとっては自分で原則を疑って研究する能力は不要かもしれませんし、JABEEが審査対象とする技術者向け教育においてさえ、そのような能力の習得を学習教育目標に掲げておく必要はありません。すなわち、専門的知識（原則）を理解し、それらを応用して社会に役立てることが出来る能力を卒業生全員が習得していることを証明できれば、技術者教育としては合格可能なわけです。

ちょっと話が大きくなり過ぎましたが、では、学部レベルの教育の主眼を専門的知識の教授に置くとすると、研究者による講義などは不要になるでしょうか。おそらく、教育技術に優れた教員の講義や放送大学の講義の方がきつと分かり易いでしょう。特に、学力のばらつきが大きく、理解力の差の大きな学生集団を相手にしている本学のようなところでは、ビデオ講義の方が、繰り返し聞くこともできますし、自分の理解度に応じて学んで行けますから、より効果的かもしれません。全ての講義をビデオで置き換えることができると、教員に求められる教育の仕事は、実験や卒業論文と学生の評価だけになり、それはそれで嬉しいのですが、私は、対面授業は残すべきだと考えています。

教育というのは全人格的な面があり、向かい合うことによって単なる知識だけでないものが伝わります。また、授業の脱線というのも大変楽しいものであったりしますし、そのときの話は表情を見ながらでないとできません。さらに、思考力や判断力など生きるための知恵を磨かせるには対話は不可欠です。そこで、ゼミと講義の中間形のような学生参加型講義が面白いのではないかと考えています。この講義は、教員が喋りっぱなしのものではなく、学生からの質問や意見表明によって、話の内容がどのように変わるか分からないというものです。これが成功するには、学生がどんどん質問し、意見を言わねばならないのですが、初めはなかなか質問が出ませんから、教員が聴衆の中に入り、教員同士の掛け合い講義から始めてはと思います。もちろん、このような講義ばかりでは教育内容を全て終わりませんから、ビデオ講義を組合わせ、予習を義務づけねばならないことは当然です。学生も言えますので、予習ビデオの中に質問ネタも忍ばせておけば、結構喋るのではないかと思います。そうすると、大勢の人の前で、自分の意見を言う訓練にもなります。

今、本学は研究大学で行くのか、専門学校的要素を強めるのか、あるいはその両方を狙うのか、社会情勢も考慮して再確認すべき時期にあると思います。私は、

両方を狙わざるを得ないと考えるのですが、研究もやりながら、上記のような講義コンテンツを用意するのは至難の業です。しかし、やってみたいという希望はあるのです。

5. おわりに

少々長くなりましたが、本稿では、電気電子情報通信工学科の教育に関する私見を述べました。

これは私立大学の工学系全体に適用できる議論ではないかと考えています。特に、大学教育の質が問われている昨今、本学のように多様な志向を持ち、学力差の大きな学生が入って来る大学での教育は、極めて困難な問題となっています。私は、研究大学向きとか、技術者向きなどと一つに絞らず、できるだけ多様な教育カリキュラムを提供すべきで、それらが適切か否かを判断する最終的な評価基準は顧客（卒業生の）満足度だと考えています。どの程度の卒業生が、中大を出たことを誇りに思い、中大で学んだことに意義を見出すかが、教育の良さを決めます。

学科がそのような調査をする際、同窓会組織を利用して貰えば大変効率的ですし、教育のあり方に対する社会の要望の取り入れルートとしても、同窓会の役割は極めて重要です。同窓会諸兄諸姉にとっても、良い後輩と一緒に働くことができれば嬉しいのではないのでしょうか。

その同窓会の組織化率が低下し、多数の卒業生の意見を取り込むことが困難になってきているという状況は憂慮すべき事態です。同窓会諸兄諸姉に一層のご努力をお願いすると共に、我々教員も同窓会への入会を積極的に支援して行きたいと思います。

本稿に関するご意見がありましたら、
tsuki@elect.chuo-u.ac.jpへお寄せください。

会誌発行事業費・終身会費の集計報告（その2）

2001年の会誌（第38号）で皆様にお願ひしました「会誌発行事業費」につきまして、2002年の会誌（第39号）でご報告しました後も引き続きご協力をいたदैておりますことを感謝申し上げます。

ここに、平成14年7月12日以降、平成15年6月19日までに寄せられたご芳志を合わせた全集計結果と、ご協力頂きました方々の御芳名ならびに会誌（第39号）で記載漏れしました方々の御芳名を併せて報告いたします。

● 会誌発行事業費・終身会費集計報告

収入金額合計：1,840,100円（振込手数料15,900円差引後）

● 会誌発行事業費納付者御芳名

清野 剛 殿	遠藤正雄 殿	青木義雄 殿	北原多喜雄 殿	佐藤隆夫 殿	西尾英臣 殿
中庭源内 殿	中村雅喜 殿	柴田健次 殿	新井純一 殿	古川成人 殿	

● 会誌発行事業費・終身会費の納付先口座のご案内

引き続き「会誌発行事業費」と「終身会費」の納付受付を行っておりますので、同窓で未納あるいは未入会の方がおられましたらご協力お願いの声をかけて頂き、下記口座のご紹介をお願いいたします。また、既に一度「会誌発行事業費」をご納付された方も、ご協力いただければ幸いです。

【銀行振込の場合】

銀行名：東京三菱銀行
支店名：春日町支店
店番：062
口座番号：0286586
口座名：中大電気同窓会

【郵便振替の場合】

口座番号：00130-7-752276
加入者名：中央大学理工学部電気・電子工学科同窓会

郵便振替で御納付される方は、住所・氏名・学部卒業年を必ずご記入下さい。

計 報 この1年間に計報に接した方々です。謹んでご冥福をお祈り致します。

青柳 直さん(昭和28年卒)	小笠原謙蔵さん(昭和29年卒)	宮内 誠さん(昭和40年卒)
土屋尚由さん(平成1年卒)		

新3号館にモニュメント時計を寄贈

平成15年3月に竣工しました「新3号館」の1階ホールに、竣工を記念して理工学部8学科の同窓会が共同し費用を負担して「学校法人中央大学」に「モニュメント時計（総額3,045,000円）」を寄贈しました。

5月24日(土)に、寄贈・除幕式が阿部理事長をはじめ常任理事、8学科の同窓会代表者が出席し執り行われ、電気同窓会からは、天野会長、菱沼副会長が出席しました。



除幕式で幕が取り除かれた瞬間

寄贈した理工学部8学科同窓会正式名称

電気電子情報通信工学科同窓会

土木同窓会

精密機械工学科同窓会

工業化学科・応用化学科同窓会

数学科同窓会

白門物理会

管理工学科・経営システム工学科同窓会

情報工学科同窓会

平成13年度 会計報告

(自平成13年4月1日～至平成14年3月31日)

〈収入の部〉

前年度よりの繰越金	1,061,242円
平成13年度総会会費	483,000円
預貯金利息	473円
名簿売上代金	4,000円
終身会費	510,000円
寄附金	7,000円
会誌発行事業費寄附	1,736,000円
計	3,801,715円

〈支出の部〉

平成13年度総会費	401,575円
通信及び印刷費	931,523円
アルバイト代	24,840円
事務・運営費	53,716円
名簿関係 印刷費	0円
通信費	340円
アルバイト代	0円
事務費	30,000円
慶弔費	1,700円
次年度繰越金	2,358,021円
計	3,801,715円

上記、平成13年度会計報告の収支計算は、適正に表示しているものと認める。

平成14年7月25日

梁 山 修 治 築

平成14年度 会計報告

(自平成14年4月1日～至平成15年3月31日)
(本会計報告は、本年開催の総会で承認を諮る予定)

〈収入の部〉

前年度よりの繰越金	2,358,021円
平成14年度総会会費	280,000円
預貯金利息	66円
名簿売上代金	0円
終身会費	390,000円
寄附金	3,800円
会誌発行事業費寄附	75,000円
計	3,106,887円

〈支出の部〉

平成14年度総会費	245,198円
通信及び印刷費	424,430円
アルバイト代	0円
事務・運営費	24,819円
名簿関係 印刷費	0円
通信費	0円
アルバイト代	0円
事務費	30,000円
慶弔費	0円
次年度繰越金	2,382,440円
計	3,106,887円

上記、平成14年度会計報告の収支計算は、適正に表示しているものと認める。

平成15年6月17日

築山修治 (築山)

同窓会 役員・常任幹事・幹事 一覧

(任期：平成14年11月9日～平成16年総会開催日)

平成14年度総会で、下記の方々が満場一致で選任されました。

会 長	天野 浩志 (昭和39年卒)	常任幹事	岩瀬 暢男 (昭和43年卒)
副 会 長	市川 友之 (昭和33年卒)	〃	亀田 俊夫 (昭和45年卒)
〃	菱沼 一夫 (昭和39年卒)	〃	飯塚 信市 (昭和47年卒)
〃	萩野 征治 (昭和41年卒)	〃	菅原 正人 (昭和47年卒)
監 事	築山 修治 (本学科教授)	〃	高橋信一郎 (昭和62年卒)
〃	黒崎 勝吉 (昭和29年卒)	〃	細田 浩希 (昭和63年卒)
常任幹事	重政 弘康 (昭和35年卒)	〃	宮崎真由美 (平成2年卒)
〃	山口 功 (昭和40年卒)	〃	國井 康晴 (平成4年卒)
〃	門原 健男 (昭和40年卒)	〃	武藤 泉 (平成12年卒)
〃	富田 紘志 (昭和41年卒)	幹 事	大越 功 (昭和30年卒)
〃	田口 昭夫 (昭和41年卒)	〃	篠田 庄司 (昭和39年卒)
〃	志村 公夫 (昭和42年卒)	〃	荒牧 成光 (昭和41年卒)

東京電力の「電気史料館」紹介

今年度の同窓会総会開催会場となる、東京電力（株）技術開発センター内にある「電気史料館」（平成13年12月オープン）を紹介する。

基本コンセプトは「明治時代より引き継がれてきた“電気作りの精神”を現代に伝え、次の時代に語り継いでいく」ことであり、まさに『過去から未来へ』の空間が存在する。

約4,000㎡の展示スペースには、明治期に建設された送電鉄塔、昭和30年代初めに日本の火力発電所で最大出力を誇った全長23mのタービン発電機や、当時東洋一の出力を誇った戦前・水力技術の最高峰・水力発電機の実物カット展示……さらには、明治中期から現在に至るまでの電気の誕生から、発電過程がすべて迫力ある実物を通して見る事ができる。

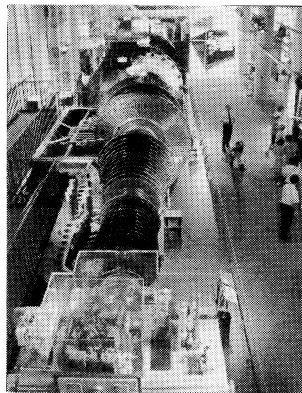
なかには、発明王エジソンが開発した直流発電機や電気自動車、明治時代に皇居正門の石橋に設置されていた飾電灯、栃木県の日光金谷ホテルで40年以上も電気を供給し続けてきた自家発電設備など、ほかでは見ることのできない貴重な史料が沢山ある。

そのうえ、これもビックリなのは、2階のオリエンテーションホールにある。日本の電気事業がスタートしたのは、今から約120年前。その歴史と明治期から全国に広がっていく電気点灯の様子が市町村別に分かる。

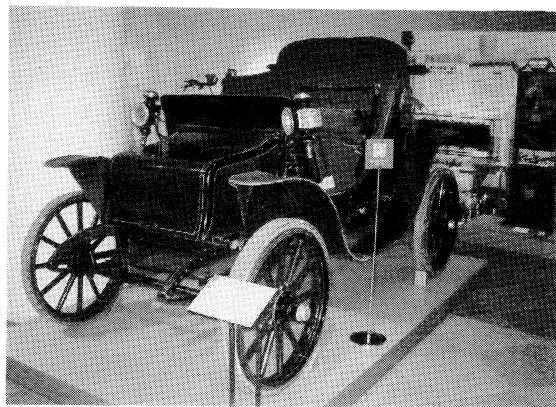
あなたの故郷、思い出のある町には、いつ頃点灯したのか……自らの検索により判明……とにかく電気の歴史がすべて分かる。

同窓会総会が始まる前に、2時間くらい見学時間をとっていただくことをお勧めしたい。ガイドツアーも用意されている。

（昭和41年卒；田口昭夫）



タービン発電機



エジソンが開発した電気自動車

昭和47年卒 菅 原 正 人

国定公園（車山高原）内の市川先生の山小屋

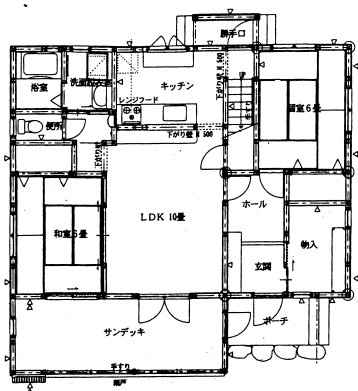


建物名称	市川さんの山小屋
建築場所	長野県茅野市北山字入之嶺3413-48番地（八ヶ岳中信高原国定公園）
敷地面積	1,173.01㎡
規模	木造2階建
延床面積	115.52㎡
設備概要	電 気：電灯コンセント設備・CATV設備・電話設備 給排水：上水道（凍結防止設備含）設備・排水下水道に生放流・灯油炊給湯設備・ガスはLPG
設 計	中島誠至（明治大卒）建築設計事務所
施 工	（株）ダイイチ
着 工	平成13年 8月20日
竣 工	平成13年12月10日

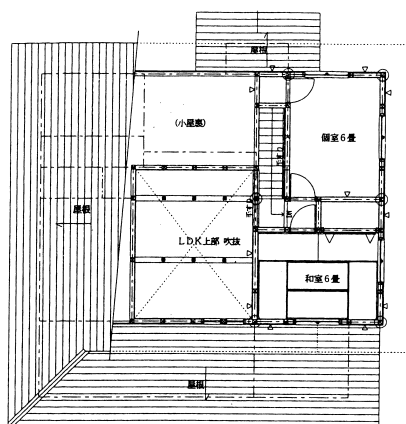
バス停No.2のまん前、両隣はペンション、建物の中心は、上部吹き抜けの10畳のリビング、それに繋がっているサンデッキ、山小屋気分を十分に堪能できる。
キッチン是对面式、2階には6畳の洋室と和室がある。（次ページ平面図参照）

建物概要はこれ位にして、国定公園内に建物を建てる時の許可申請書の1部を紹介すると、
「私は、現在都内に居住し大学に勤めるかたわら、若い時からスキー等で当地を訪れる事も多く、晩年は、この

地を暮しの拠点にと切望していた。ようやく、その機会を得て、今回申請地で別荘を新築することに至った」
 こんなふうを書くようです。



1階



2階

昨年10月におじゃました時の事です。

到着するとすぐに、「お風呂に行こう」と言われ白樺湖まで下りる。(車で5分) 湖畔にある、鉄分をたっぷり含んだ、オレンジ色の天然温泉「すずらんの湯」でさっぱりする。「皆さんで手足を延ばして入る風呂もいいだろう」と市川先生。

温泉に入った後すぐ山小屋に戻る。サンデッキからいきなり目に飛び込んてくる眺め。これぞ大自然の広がり。しばらくその敬虔さに言葉を失う。心の隅々まで清清しくなる。

さっそくビール専用クーラーで冷やしたビールで乾杯。大変おいしい食事をごちそうになった。よく覚えていないが、朝まで奥様と飲んでいたやつが、いたやうないやうな・・・。

市川先生、奥様いろいろお世話になりました。誌面を借りてお礼申し上げます。今度行ったら早く寝るようにします。同窓生の皆さんも、迷惑にならない程度に、車山高原に顔を出してみてください。とてもいいところです。



おじゃました仲間



サンデッキから二人仲良くお見送り

“トドの詰まり文化論” その7

— イラク戦争をどう理解するか? —

人類の生き様を左右している宗教と権力の関係

昭和39年卒 菱 沼 一 夫

1995年に本誌への寄稿をきっかけにして始まった、古代エジプト文明を今日の近代文明の基点と定義した「トドの詰まり文化論」も年を重ねてきた。

随筆の段階から研究の段階に進化し筆者のライフワークにもなってきた。

「トドの詰まり文化論」は『古代エジプトの地を基点にし、東向きの文化はメソポタミア、ガンジス、揚子江文明の淘汰を通して今日の日本文化を形成しているとした。一方、西回り「トドの詰まり文化」は古代エジプト時代に権力闘争に敗北・流出した文化はヨーロッパ文明（地中海沿岸文明）下地となりキリスト教の進展と共に増幅されヨーロッパを通過して、その“エッセンス”は今日のアメリカ国家の形成となった。』と“大胆”な定義をしている。この認識を元に最近10年余りの今日の世界情勢を見続けてみると、世界的な争いや各国政府の思惑や政治手法が“良く”見えてくる。「トドの詰まり文化論」の「実力」まんざらではない解析能力を持っているようだ。

今回は「イラク戦争をトドの詰まり文化論」での咀嚼を試みた。

メソポタミア文明の発祥の地にもとうとう戦火（戦禍、戦渦）が起こった。かつて農耕文明の発祥の地、チグリス川とユーフラテス川が接近した地が今日のバクダッドである。又この地はユダヤ人の始祖と言われる人たちのノアの洪水のあった場所でもある。

チグリス川とユーフラテス川に掛かった橋は戦車の通路となり、新たな歴史が作られた。

かつての農耕の源であったチグリス川とユーフラテス川の水は近代浄水技術によって兵士の生活水に利用されている。

有史以来人類の生き様は宗教と芸術（今日の定義）

によって支えられてきたことはその遺跡から思い知ることができる。

人類が集団生活を営むようになると必然的に集団の人口は増加する。そうすると住処と毎日の食料の確保が不可欠になってくる。移住生活は不安定さが伴うので定住生活／農耕文明が発達したのであろう。

人口が増えれば組織化が進み、一人一人の役割分担が生じてくる。自然環境や四季が人々にとって重要になって自然や森羅万象に対する敬虔の念が生じる。

メソポタミア、エジプト文明が芽生えた頃、ユダヤやパレスチナの人々は遊牧生活をしていた。定住民族と遊牧民族の生活の基盤は異なる。必然的に「神」、「信仰」の成り立ちは異なってくる。

今日、世界の人々の価値観の基盤の相違は“遠い昔”にそのルーツを設定して、観ることにしよう。

50年来の「物主義」に馴染んだ日本人はイラク戦争を「独裁的な支配者の抹殺」と理解して一歩踏み込むことを暗に拒絶している。これでは国際的な理解を得られないし、国際社会に参入できない。

「イラク戦争」を紀元前700年頃にイスラエル家が滅亡して、今から56年前の1947年にイスラエルが建国された2600年以上の間にユダヤ教から分派したキリスト教、紀元後のキリスト社会の権力社会がユダヤ教（原理）回帰のイスラム教を生み出した宗教と権力の壮大なドラマの一掃結と見ると興味ある世界人類の生き様を見ることができる。そして“平気”で居られる日本人の環境醸成を併せて診てみよう。

この議論を分かりやすくするために、ユダヤ教、キリスト教、イスラムの成立と社会体制の変革の起点になったと思われる出来事を筆者の独善で収集編纂した

ものを図1に示した。又宗教や民族意識と権力がどのように（特異な）国家形成に結びついたかの論理設定を図2に示した。賢明な各位には異論もあると思うが、筆者の独善的論理展開に参画してみて貰いたい。

図1を観てお分かりのようにBC 700年頃にイスラエル国家が滅亡して、AD 1947年にイスラエルが建国されるまでの2600年以上の歴史が今日も脈々と息づいていることに注目したい。

ヨルダン川の西岸に位置するエルサレムが共通の聖地であるように、今日の世界の動きに関与しているキリスト教、ユダヤ教、イスラム教はユダヤの始祖であるセム族の宗教に端を発している。

ユダヤ教の聖書である「旧約聖書」は紀元前600～400年代に完成されていると言われていることからユダヤ教の完成はこの頃であろう。ユダヤ教によって救世主の誕生が予言され、イエス・キリストが誕生するが、ユダヤ人によって処刑されることによってキリスト教の創始が行われる。しかしキリスト教の聖書の「新約聖書」が完成されているのは、AD 100～200年とされている。旧約聖書が作られていた頃は既にイスラエル国家は滅亡していた。

古代エジプト文明もローマ、ギリシャの攻勢で末期であった。

キリスト教の創始にはローマ帝政を軸にした大きな権力基盤の変革があったと見たほうが面白い。

ローマを中心にしたキリスト教社会はユダヤの地に住む人達とは相容れないものであったに違いない。

AD 600年代になってイスラム教がユダヤ教の原理主義として、ムハマドによって創始された。ローマ帝政の“歪み”が露呈したのであろう。

イスラムの教えは、平等と義務を前提とした共産思想の提示でもあったと言える。この時点では、イスラエル（ユダヤ）対アラブの対決は鮮明ではなかったはずであろう。1500年の時を経て、3大宗教は出揃った。エジプト、メソポタミアの古代文明とこれらの宗教の大きな相違は、古代文明は多神教であり、支配者は神の存在になることであった。古

代エジプトには千差万別と言われる位神があった。

多神教の考え方と唯一絶対神の考えは権力との結合において大きな相違となっているのが歴史の事実からいろいろと学び取ることができる。

イスラムでは、徹底していて偶像支配を禁じている。絶対神を映像化することも許されていない。

イスラム圏では今日も絵柄ポスターは少ない。

同じ唯一神のキリスト教の場合は偶像崇拜である。

古代エジプトの遺跡には時々の支配者によって改変が行われている。記憶に新しいバーミアンの大石仏はアフガニスタン戦争の直前にイスラム集団に破壊されたのも所作の一環である。カイロのピラミッドの前にそびえるスフィンクスの鼻とヒゲは欠けている。自然風化によって落ちたものではない。この破片は大英博物館にある。偶像支配の拒否、あるいは偶像の相違の所作と理解した方が興味が湧いてくる。

【写真参照】

イスラムが権力を持っていた（オスマントルコの傀儡政権）1800年代には古代エジプトの遺跡品は自由に国外に流出していた。欧米の博物館で鼻の欠けた像を見るとき誰が鼻を落としたのであろうと当時を思い浮かべるのも今日につながる発想になる。

1500年代になるとキリスト教会に大きな変動（権力争い）が起こる。カソリック、イギリス正教、ロシア正教、ギリシャ正教に分派する。

更にドイツでは宗教革命が起こりプロテスタント（抗議者）活動が起こりカソリックとの分派ができる。

イギリスではイギリス正教会に反乱が起こりピューリタン（清教徒）が誕生した。ピューリタンの聖書解釈は旧約聖書に近いとされている。この人達が当時の植民地のアメリカに渡りアメリカ国家の成立の原動力となった。アメリカが今日のイスラエルの建国に積極的に関与したのは、アメリカに渡った人達にユダヤの人達が多かったことより、宗教の解釈上の一致が大きいのでは（今日も続いている）ないかとの筆者は独善的見解を持つがいかがだろうか。前のイギリス首相のサッチャーさんが現職の時にアメリカの国会での演説で「あなたたちはイギリスを

出て行った人の集団」と言ったのは未だに当時の経緯が米英に残っていることを物語っている。

1700年の終盤になるとアメリカの独立戦争に端を発し、従来の宗教支配による行き詰まりから、思想支配の社会変化が起こり始める。

法の前での『平等』、『私的所有権の不可侵』、『個人の自由』、『信仰の自由』を打ち出したナポレオンによるフランス革命。ナポレオンの生き様自体は旧来の王族を凌ぐ贅を尽くし、侵略的政治をしたのにも拘わらず（ヴェルサイユ宮殿、ルーブル美術館に多く見られる）今日至っても偉大さが語り告がれているのは、権力の世襲制を廃し、法の前での「平等」の概念が有史以来の「論理」を覆したことにあるのであろう。

マルクス／エンゲルスによる支配階級と労働者の関係が論じられ、社会主義が表舞台に登場して、レーニンのソ連、毛沢東の中国が誕生して、宗教から離別した社会が発展した。しかし社会主義国家は中央集権的特質から独裁政治を生み出すものになってしまった。

レーニン像が引きずり降ろされることになったのは、レーニンを始めとして権力者が本来の思想を歪曲したことによるものであり、筆者は当然の帰結と思っている。筆者の若い頃にもれ見聞したソ連や中国での権力者の圧政は未だに記憶から消えない。圧政の元で人生を過ごした人々の存在は容認しがたい思いが今でもある。

マルクスはユダヤ系ドイツ人である。彼の思想構築の過程でどんなことが脳裏を回っていたか？

毛沢東の文化大革命で当時の知識層は粛清され、大乗的な中国は改造された。20数年たった今日、20代～40代に空洞化があり、都市部では“何でもあり”が普通化している。これをどう評価するか。

イエス・キリストのユダヤ人による処刑は今日においても根深くユダヤ人とキリスト教徒（特にカソリック）との関係に残っているが、果たしてイエス・キリストの昇天直後から怨念が始まっていたのだろうか？

筆者は興味を以って初期キリストの遺跡や歴史上の博物に注目、観察しているが、どうもキリストとユダヤの争いは紀元後1000年前後から始まっているよ

うで、当時の権力者の“細工”が始まりのように思える。その代表的な（結末的）活動はナチスによるホロコーストである。イラク戦争でドイツが開戦に強く反対している（反）論拠をここに求めるのは乱暴ではないと思っている。

前書きが非常に長くなったが、本論のイラク戦争論に戻そう。

アフガニスタンとイラク戦争以前の紛争は以上述べてきたようなことが絡み合って起きている。多かれ少なかれ1947年のイスラエル建国によってパレスチナの人々が難民化したことによって、アラブ対イスラエル、これに帝国主義の米ソがどちらに付くかの争いであった。

米ソ対決はイスラム対ユダヤの対決を水面下で増幅をしていた。ソ連邦の崩壊によって、アラブ対イスラエルの民族対決が鮮明となった。この対決に対してキリスト社会はかつての植民地政策の関係の利害関係からイスラエル支持とアラブ支持の踏み絵を踏まされることになった。そして今まで穏健であったキリスト社会とイスラム社会の対決が発現し、今やイスラム社会対キリスト・ユダヤ社会の対決に様変わりして、イラク戦争に特徴的現れている。又、イスラム社会の数百年来のシーア派とスンナ派との権力争いも背景になっている。約7億のイスラム信者の内シーア派は約1割と言われている。その多くはイラン、イラク、パキスタン、レバノン南部に住んでいるそうである。イラクの政権はスンナ派を主体にしたバース党であった。ズインの進攻軍はイラクに住むシーア派の蜂起を期待していたが思うに任せなかったようだ。イスラム原理主義のアルカイダはシーア派に近いようで、従来のイラク政権とは一線画していたようだが、イラクにおけるシーア派の勢力が定着するに従って、アルカイダの介入があってゲリラ戦が頻繁になってきたとの報道もある。

一方東方の日本は長い縄文文化／弥生の農耕文明の後に中国文明のエッセンスが「儒学」として到来し、その後に玄奘三蔵によって大乘化された仏教の傘下で日本文化は醸成されていた。1247年の蒙古の襲来が日本が世界的な渦中に取り込まれるか否かの分かれ

目であった。戦国時代、江戸時代を通した400年余りは独自の世界であったようだ。1853年に黒船でペリー提督が日本にやって来て開国を迫ったのが、公的な国際化の始まりとすることになっている。

随分長い間、日本人は海に囲まれた“温室”育ちで、西回り「トドの詰まり文化」の結集であるアメリカの洗礼を受けることになる。

第一次世界大戦は国際社会に目覚めた日本人のひとつの帰結でもあったと思うが、第二次世界大戦は仕掛けに気づけなかった愚かな日本人への代償でもあった（言いたい。一昨年の9月のWTC（ワールドトレードセンター）へのテロ事件が起こった時に筆者はアメリカに滞在していた。アメリカから日本人の騒ぎぶりを見た。密かに日本だってかつては、宣戦布告なしに「真珠湾攻撃」を仕掛けたではないか」と思った。ボストンに回った時、新聞のコラム欄に「アメリカ本土への1940年以来の“テロ”」と密かに予想した記事を見た。

しかし、2年の時が経った今、諸説、諸情報を勘案するとWTCへのテロ事件も日本の「真珠湾」への“テロ”と同様のパターンを垣間見る。

アフガニスタンやイラクへの進攻をみると「真珠湾攻撃」はテロを仕掛させられ戦争に発展させる戦略であったとの思いに代わっている。

大胆にも3000～5000年の人類の歴史を紐解いて今日の世界情勢の理解に挑戦してみた。

世界に起こっている争いや混乱をそれなりに理解するためには歴史の事実認識が不可欠なことは理解できたと思う。特に旧イスラエル国家の消滅と新イスラエルの建国の2600年間の経過の理解は重要であり、更に1500年代以降の変遷も見逃せない。

仏教も神教もキリスト教も何でもOKの“超多神教社会”の日本人も宗教感は別の言い方をすれば、宗教に対して“脆弱”である。

日本の戦後の復興を図った「企業戦争時代」には各社の“企業宗教”が乱立し、その効果が日本の経済を驚異的に復興させた。しかし、日本の“企業宗教”も例えば「消費」と「節約」、「環境保全」や経済成長を前提にした企業経営の継続において論理矛盾を起こ

し破綻に至った。

宗教による人の支配が困難になって、イデオロギーが民族主義をも含めて支配した時代は終焉して、現在の世界を支配している宗教も権力闘争の道具になっている。20世紀の後半になって石油が争いの要素に加わった。日本人は約1.2億人である。日本人は利根川の水量の5倍の淡水を必要としている。

今、世界の人口は毎年8000～9000万人増加している。すなわち毎年利根川5本分の淡水の供給（開発）を必要としている。私が理解している位であり、古代イスラエルの地では泉の利権争いが民族間の争いに転じていたように既に石油戦争から水戦争が各国間で始まっている。

とてつもない議論を呈した。本人も途方にくれている。人口が増え、水、食物が枯渇しようとしている。

もはや宗教やイデオロギー、ましてや帝国主義の発想では統治は困難となってきていることは分かり始められる。

ささやかな提案。自然に順じたい。

ソクラテス、ガリレオ、ミケランジェロ、アインシュタイン等多くの偉人は科学者であり、指導者であった。

それが必然であると思う。

自然科学者の権力者の僕から直接的な政治への参入への奮起を期待したい。

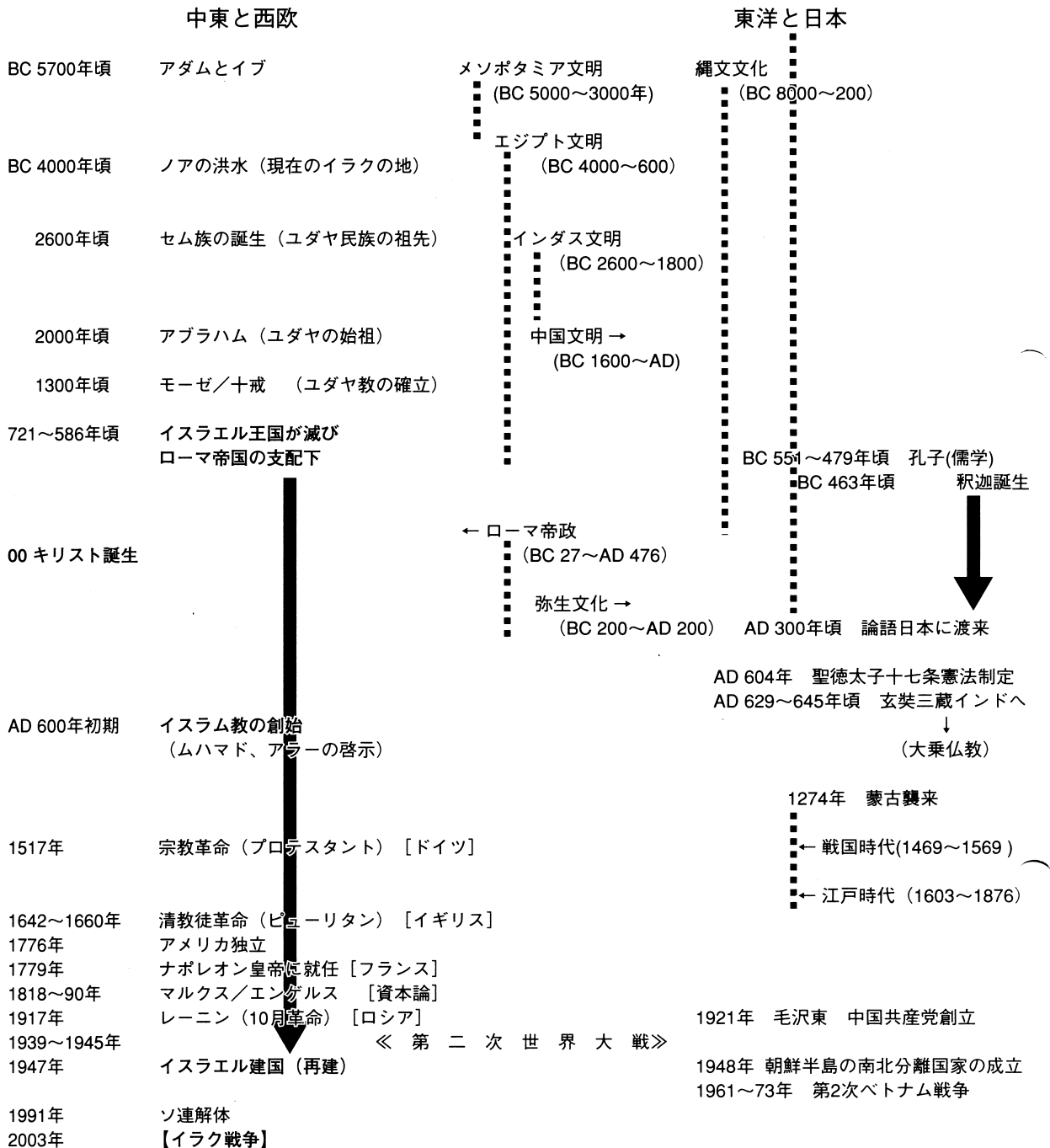
※バックナンバーをご所望の方はコピーをお送りします。 E-mailを下さい

菱沼技術士事務所

E-mail: RXP10620@nifty.ne.jp

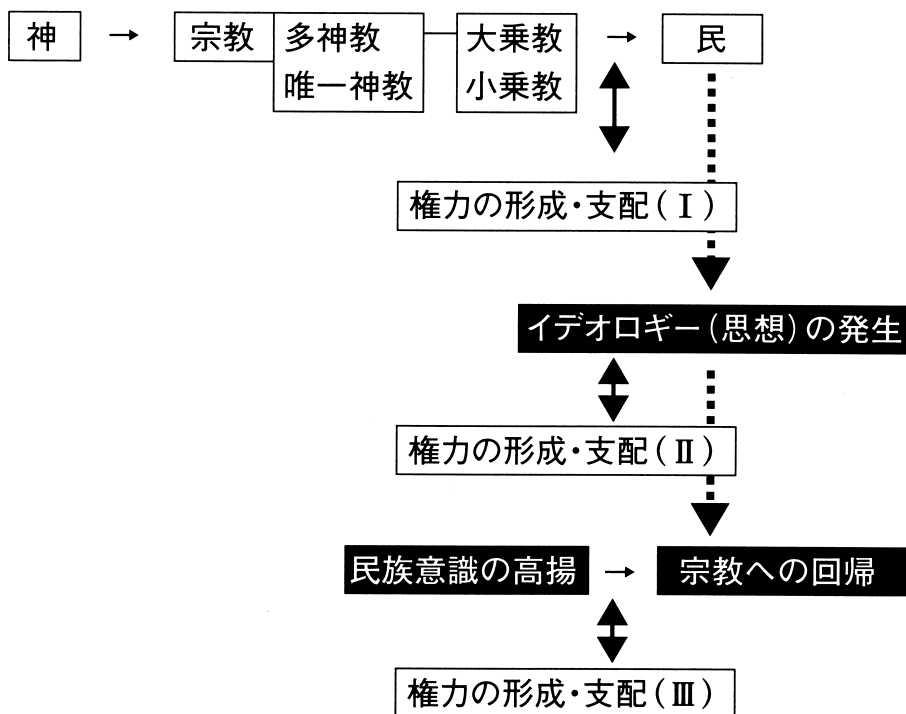
Tel. 044-588-7533 FAX. 044-599-8085

〒212-0054 川崎市幸区小倉1232



《August, 2003 菱沼 一夫による編纂》

図 1 文明の推移と社会体制の変革



《August, 2003
菱沼 一夫による》

図2 民の宗教心と権力支配のプロセス

「トドの詰まり文化論」・その7【写真説明】

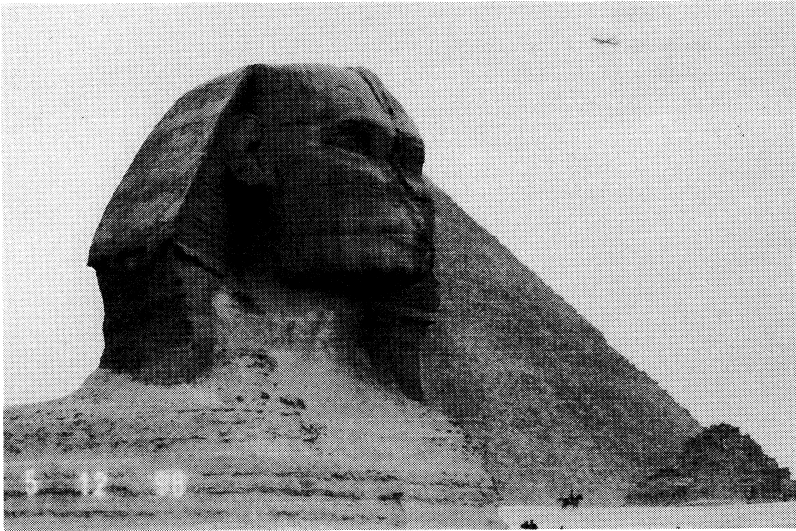


写真1 エジプト・ギザのスフィンクスの鼻とヒゲは欠けている。
偶像支配を拒否するイスラム教徒が破壊したか？
キリスト教徒が破壊したか？ 【写真はいずれも筆者撮影】



ヒゲは大英博物館に
展示されている。



写真2 遺跡から運び出された彫像の多くは
鼻部が破壊されている。
(鼻部を痛めつけるのが拒否の証か？)

昭和24年、大学制度の変更と総合大学への脱皮で中央大学工学部電気工学科の1期生、85名（途中入学の8名を含む）が誕生したが、昭和52年の電気工学科同窓会名簿によると卒業生は43名であった。

卒業率50%の不安定な学生時代と、社会に全く知れない存在の卒業生の就職難を克服し社会に船出した同期性のその後の動向に、年を経るごとに関心を強くしながらも遠隔地に住み、仕事と生活に追い回されている身では知る術がなかった。

定年退職後、再就職のため、昭和64年（平成元年）に小松市から浦和市に居を移し、早速、同期生との再会を期待して同窓会に出席したが、1期生は小生1人で情けなく、残念な思いで【同窓会の幹事は各学年から一人ずつ選出し、選出された幹事に同期生を動員させる仕組みを作るべきである】と同窓会の席で事務局？に進言した。（その採否と現状は？）

同期生との再会には同期会しかないと考え、仕事の合間に43名を調査した結果、35名の住所が判明し、住所追跡不可能者5名、物故者が3名であった。

この35名を対象に、平成3年、1回目の同期会を東京駅構内の精養軒で行い21名が参加、続いて平成5年に中央大学駿河台記念館で2回目を行い16名が参加した。両同期会で70%の人の自信あふれる、そして満足した顔に接し小生の初期の目的は略達成した。

その後、年賀状、電話等により同期会は何時やるのかと督促されてきたが、仕事が多忙になり、今までのように一人で纏めることに不安を感じ応援者を求めたが、適任者もなく期待に応える事が出来なかった。

仕事から離れた昨年、「来年度は卒業後50年目で

あり同期会をやろう」との提案があった。人生の区切としては最良の年であり、今度は幹事4名で3回目を50周年記念同期会と名付けて平成15年4月、アルカディア市ヶ谷（私学会館）で行い18名が参加した。

1、2回目は同期会に気乗りしない欠席者が見受けられたが、3回目はこれが略無くなり、代って死亡と病氣（リハビリ中含む）による欠席者が多くなった。

3回目の50周年記念同期会の出欠回答用葉書には特に近況の記入を強く依頼した結果、23名より近況の回答があった。これを纏め、出席者には当日配布し、欠席者には後日郵送した。これに対して、欠席者の数名からお礼の手紙と電話を受けた。

離職後の近況の中で、日常生活の一部に組み入れ活用されているものを、項目別に列挙すると、

◎健康と体力の維持（ウォーキング、ジョギング、ハイキング、登山、ゴルフ、グランドゴルフ）

◎頭の体操（読書、囲碁、将棋、模型の組立）

◎声楽への挑戦（コーラス、カラオケ）

◎自然との対話（畑仕事、園芸）

◎子供達の便利屋さん（孫の子守、その他？）

◎定期的な保養と観光（国内温泉旅行、海外旅行）

◎地域社会への奉仕活動（町内会、老人会の役員）

等がある。小生の場合、能力の範囲内で、これらを最大限に活用している心算であるが、毎日が日曜日の有り余る時間の使い方に、困惑する時が多々ある。

2枚の写真、第1回同期会（上）と第3回同期会（下）を比べると、その容貌から12年の歳月を伺い知る事ができる。実情は、病氣中の人々が6名（リハビリ中の4名を含む）で物故者が8名に達している。

同窓会では、各卒業年度に対応した名簿を提供する用意がありますので、事務局宛にご請求下さい。

—



第1期生の近況（抜粋）

（50周年記念同期会出欠返信葉書から転載）

饗庭 秀雄

勤めを辞めて瞬く間に4年半が経ち、その間、市街地再開発で追い立てを食い今の住所に移りましたが、ここでも早2年です。移転の煩わしさと慌しさも、寄る年波の億劫さのもと、これを何とか凌いで近頃やっと落ち着いてきました。

予てより憧れた無職の生活に、無為徒食の後ろめたさを時に感じつつも、まあまあ満足しています。

石井 茂

卒業後7ヶ月間アルバイトの後、大類先生からの紹介で幸田電機に入社、10ヶ月後、小倉さんの所に居候しながら、富士電機に出張して配電盤、制御盤を3年間学び帰って来ましたが、幸田電機に仕事が無く1ヶ月で辞め、それからが大変でした。森さんから北電子にも制御盤があるので手伝ってくれとの話があり、その時(株)北エレクトロニクスを設立し、現在、何とかやっています。

長田 孝弥

年と共に身体のアチコチの部品も痛んできますが、お蔭さまで元気にまあまあの生活を送っています。

数年前より農家から50坪ほどの土地を借り、体力に合わせて四季其々の有機野菜を作っており、3月中旬にはジャガイモ7kg、里芋30ヶの種子をまき終わり、今は夏野菜の準備中です。

大学のスポーツ（陸上、水泳、球技、ボート等）には暇を作って応援に積極的に参加しております。箱根駅伝は学生時代より56回連続、出雲大神駅伝と伊勢神宮駅伝は応援団の学生と共に、水泳は辰巳、横浜、大阪会場へ、野球はもちろん神宮球場へ毎回足を運ん

でいます。野球は4月7、8日対亜細亜、4月15、16日対青山、ボート（戸田コース）は4月29日予定、皆様のご声援を！ 一種のオッカケで、ストレスの発散です。

佐藤 計士

永年高校教員をやっておりましたが、退職後やっと自分の自由時間がとれると思ったらすぐに体調をくずしてしまい、いろいろな事がありました。

昨年には転倒して、足腰をいため、それから長距離歩行が困難になり休み休みのよちよち歩きですが、一応元気にしています。

鈴木 克郎

40代半ばより毎朝、30分程度のジョギングをしてきたが、60代後半サンデー毎日となってからは、時間的余裕もあり、膝の負担軽減を考えて7km程度のウォーキングと途中10分程度の階段昇降とジョギングを行っている。

その効果もあってか毎年行っている人間ドックで1～2～3基準値すれすれの項目があるものの健康体を保っている。

又、ゴルフでも疲労劣化の程度を少なくしている様で、所属クラブの元気老とグランドシニアチャンピオンに何回なれるか競い合いエージシュート達成を楽しみ目標として精進している昨今です。

高橋 清實

東京電力(株)を57歳定年扱いで退職し、関連会社を経て、65歳で長いサラリーマン生活に終止符を打ち、長男家族と同居し、趣味のハイキング、コーラスに徹

し、仲間とたのしく毎日を送っています。

家族も孫2人を含め7人家族、にぎやかです。

現在、妻が病気であり家を離れませんが、私はさこぶる健康、これから皆様との交流をたのしみにしています。

中内 康雄

テレビ、パソコンそして時々仕事と言う日々の繰り返しで過ごしています。

パソコンでは、写真のデジタル化を進めており、近中にもホームビデオのデジタルーDVD化に着手する予定です。これ等の作業は、仕事を処理する参考となる事が多く、又老化防止にもなるようです。

永井 俊一

平成13年末で会社を退職、平成14年7月には妻が他界し、不便で侘しい暮しですが、現在、Lea社（フランス）製の化粧品と健康食品の輸入販売会社のオーナーをしながら、毎日インターネットで全国の囲碁仲間と対局し、頭の体操と気分転換をはかっております。

又、昨年10月にトルコ、今年3月にはイタリアの観光ツアーに参加し、その国の歴史と文化、そして自然の一部を見聞してきました。

在職中の海外出張（21回、14ヶ国、延べ滞在日数約450日）に比べると、短い日数でしたが、業務違った観光の楽しみが味わえました。

今後も体力の続く限り、2回／年ペースで海外の未知の国を訪ね、楽しむと共に、残りの人生を悔いの無いものにして行きたいと考えています。

馬場 醒一

10年以上も前に左前頭葉の毛細血管からの出血のため、簡単な脳手術（溜まった出血を洗滌）をしましたが、手術ミスで古い毛細血管が一部残っていたらしく、思い出したように術後性発作けいれん症を平成13年頃から時々おこすようになりました。

このため平成14年会社を退職しました。脳発作防

止剤を色々飲んでも効かず、昨年思いきって医者のおすすめで、アメリカ製新薬をのんだ所、発作は完全になりましたが、肝機能障害を副作用として起こし、ひまがあっても旅行もできない毎日です。

坊 健栄

私は、陸上自衛隊（通信部隊11年、小工校郷関年、調達実施本部9年）を勤務25年50歳で定年退職、その後、財団法人に籍を置き、石川島播磨重工航空宇宙事業部に派遣され、電気補機設計業務等を支援し、平成6年65歳で再び財団法人を定年退職しました。

平成元年還暦過ぎから始めたハイキングは、大菩薩嶺（2057m）に始まり、退職時には日本の標高3000m級21座すべてと、深田久弥の百名山も38座登ってきましたが、平成11年に少し体調を崩してから、通院を月1回位と、薬を毎日服用することになってしまいました。

余り他人に迷惑を掛けてはと登山の方は少し控えています、その後、鈴鹿山系や荒島岳、大台ヶ原山、北海道の利尻岳と大雪山、白山、剣山、出雲大山、奈良大峰山に登り、昨春は屋久島の縄文杉を見に行きました。老いは足からと言われるので歩けるうちは続けたいと思うこの頃です。

今は息子と暮らし、毎日、犬の散歩が日課で、その他、デジカメ、パソコン、インターネット、携帯で三重県の孫とメール等をしています。

諸兄の今後の益々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

吉江 實成彦

定年後は、電子計測器関連の技術講師として技術系社員の教育指導に当たり、67歳で退職しました。

現在は、囲碁、将棋、プラモデル、鉄道模型、木製建築模型など趣味を楽しんでいます。

昭和40年卒 井上 哲也

昭和40年卒は偶数月の第1土曜日に、同期の島田君が経営する、神田神保町の「三幸園」に集まり始めて11回目を迎えました。連絡は電気工学出身なのでeメールのみで連絡をとって、毎回新しい顔が現れたり消えたりして、20人前後が旧交を温めあっています。

最近では口コミで仲間の情報が集まりまともりつつあります。6月7日では「次はアイツとあいつ会いた

いな」「彼と連絡がつくよ」「名簿の整理をしようぜ」との声が上がりました。

同窓会からは卒業生名簿をいただきましたが、我々は同じ釜の飯を食った仲間として、留年しようが卒業まで行かなかろうが、消息のわかる人は皆載せよう、ということでもっと充実した名簿がそろそろと思います。

同期の諸君、偶数月の第1土曜日の13:30より三幸園で会いましょう!!



(後列左より) 島田靖博、小林史之、坂本吉通

(前列左より) 平野 規、武居 勉、久保寺健夫、野末佳伸、井上哲也、福島弘志、中川士郎

同窓生からのお便り

(平成14年度返信葉書からの転載、都道府県は現住所)

今年3月に、貝原益軒著「養生訓、和俗童子訓」(岩波文庫、約700円)を読みました、病氣しないためには、心の平和が大切。くよくよするのは良くない。冬人が楽しいと思うことをするのが良い。心は楽しむ、と記されています。また7月と9月にNHKラジオ第1、午前4時6分より日本医科大学助教授高柳先生のお話を聞きましたが、人間は120才まで生きられます。病氣やストレスによって寿命が短くなります。ストレスをうまく解消して、元気で長生きしたいものです。また貝原益軒は、なるべく体を動かした方がよい、腹9分目がよいと言っています。

(元教員 東京都 吉久信幸)

ご返信がおそくなり申し訳ありません。今年の同窓会はいつかなと思っておりました処、ご案内を頂き安心いたしました。毎回有り難う存じます。卒業生諸氏の元気なお姿に接するのを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(元教員 東京都 深井 昌)

雑誌で今年3月に100歳になられる東京在住の内科医の先生が、本人を祝う「100才を祝うゴルフ会」(ゴルフダイジェスト社主催)で優勝までしてしまったことを知った。

どうも94才でエージシュートの世界記録を達成されている様で、まさに超人である。小生所属のゴルフクラブにも米寿を超えて元気にプレーする超人が何人

おかれ、特に東京商船大学名誉教授の茂在さんは歩き方も60台の人と見誤る程で、一緒にプレーするたびに啓発されている。これら大先達に少しでもあやかりたいもので、古希を過ぎての目標として80才台でのエージシュート達成を夢見て精進している昨今です。

(昭和28年卒 神奈川県 鈴木克郎)

後輩達よ！ 皆の者よ！ 俺より先に死ぬな！ 無礼だぞ！

(昭和28年卒 埼玉県 竹中四朗)

同窓生諸兄の益々の御健勝と御活躍を祈ります。

(昭和29年卒 神奈川県 小林健一)

3年前より非常勤でOA機器部品メーカーの荒井製作所で開発の仕事をしております。ここは機械屋さんばかりで、電気の知識にとぼしいので、70才の私も役立っております。

(昭和30年卒 東京都 大木榮二)

庭の柿が色づき秋深しの候となりました。役員の方々ご苦労様です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

元気で老後を楽しく過ごすため健康教室にも通い体調を整え、趣味の写真も、もう少し良い写真を撮ろうと写真教室に出席、旅行に写真にと見聞を広め乍ら町内会の幹部役員を継続して引受け老人会行事にも出席し元気に日々をけっこう忙しく過ごしております。

(昭和31年卒 神奈川県 川喜田良行)

山々を眺め、本来の「無口」な生活に戻りました。
大学を退き、ようやく同窓生の感が深くなってきました。
会を運営する人達はほんとうに大変なんですよ。
卒業生のみなさんは同窓会に目を向けてほしいね。

(昭和33年卒 長野県 市川友之)

歳相応に体力は衰えましたが、晴はゴルフ、雨はパソコンで過ごしています。

(昭和33年卒 埼玉県 中村 功)

本年6月、卒業以来初めて同級会が行われて楽しい一夜を40年前の昔話と現状について、夫々の紹介等で過ごした。次回も開催されたら是非皆も参加して欲しいと思った。小生はその後、体調を損ない(胃ガン全摘)飲食の伴う会には参加し難い事になってしまいました。諸君が健康に留意して活躍されますよう祈ります。

(昭和34年卒 千葉県 石川 茂)

「同窓会々誌」誌上に懐かしい名前とその人の文章を読み、学生時代に思いを馳せました。仕事で訪問した国の歴史、芸術、食事そしてビールとワインを楽しんでいます。

(昭和34年卒 東京都 塚原達雄)

同窓会案内をお送りいただき、会誌を一読、特に「JABEE」について興味深く読ませていただいた。数日後、新聞に「大学の『優れた研究』として21世紀COEプログラム」の審査結果が明らかになった。一とあった。その中でCOEに採択された大学の情報・電気・電子の分野に「中央大」とあり、先生方はじめ関係された方々のこれまでのご尽力によるものと、あらためて深甚なる敬意を表した次第であります。今後

のますますの発展を祈念いたします。

(昭和34年卒 神奈川県 渡部一雄)

10月12日の35会同期会に出席しました。丁度、上京の用があったので、懇親会に出された料理の質と量は会費の割にはびっくり、九州の方が格段に上と分かり安心しました。電気同窓会にも出席したいのですが、11月9日は中大のPTAのOB会(白友会)があり、私が福岡県のPTA会長をしていましたので失礼いたします。

(昭和35年卒 福岡県 新開盛治)

空を真赤に描いても良い。火山の絵には良く似合う。空は青と限らないのが現代絵画の世界です。こんな感覚で絵描きを親しむ同窓会員はおられませんか。同趣の方の連絡を期待しています。今年は東光会展に2回目の入選をし都立美術館が身近に感じています。日展にも応募しましたがダメでした。芸術の世界は大きな流れと体勢があります。そんなことで、今、学生指導や絵描きやゴルフに、電気とは距離をおいたところで忙しくしております。

(昭和35年卒 埼玉県 田伏良雄)

昨年に引き続き第二回「中日科学論壇—北京地区風沙と環境学術会議」を開催し「生態村」(モデル村)に関する3つのテーマの提案をうけた。今後、具体的に計画、実施予定(科学技術者フォーラム国際協力委員会中国交流会の活動)国内においては特許流通アシエイト(発明協会より委託)として技術移転による産業振興に協力している。

(昭和35年卒 神奈川県 橋村武司)

職務も卒業しました。これからは趣味(ゴルフ)で

気分的に豊かな生活を過ごしたいと思います。事務局の方々、御苦勞様です今後ともよろしく。

(昭和35年卒 千葉県 半田英三)

今年度から健康を中心に毎日のウォーキング、週2～3回の水泳教室、ゴルフコンペと実行しています。観光も国内・海外をと味わい学んでおります。男の料理教室へも楽しく通っており家族からも喜ばれております。

(昭和35年卒 茨城県 村井康男)

毎月、日本－韓国を往復しています。今年一杯で打ち止めにしようと思っていましたが、更にもう一年ということになってしまいました。まー、日韓交流の一助にでもなれば・・・、と思っています。

(昭和38年卒 神奈川県 小川敦久)

勤めを辞めたら、好きな車で旅行を楽しもうと思っておりましたが、62才そろそろ体が心配になって来ました。思い切って11月に1週間休みを取って、夫婦2人で九州一周旅行を計画しました。これからは、仕事70%、遊び30%に努力したいと思います。残された人生大いに楽しみます。

(昭和38年卒 千葉県 木本晶久)

昨年10月に職を離れ年金生活も1年になりました。体を労わりながらパソコン、ゴルフ、カメラ、旅行と楽しんでいます。

(昭和38年卒 埼玉県 古村 紘)

来年、第2の勤めも定年(63才)となり、いよいよ毎日が日曜となる日も9ヶ月となり、楽しみでもあり又不安でもあり様々に気持ちが交叉するこの頃です。今OBとして参加している前会社の謡曲部の活動は出

来る限り続けようと思っている。

(昭和38年卒 富山県 戸田紀良)

還暦を過ぎて企業人として経済活動に参加している環境に満足・感謝しているが、株安を始めとした厳しい社会状況の中で会社収支黒字化に向けて奮闘努力中の毎日である。

(昭和39年卒 埼玉県 齊藤榮喜)

今年末に退職の予定です。

(昭和39年卒 千葉県 松下達雄)

今年4月前職を引退、嘱託にて働いています。

(昭和39年卒 埼玉県 三浦元一)

平成14年9月末日、日本航空電子工業(株)を定年退職(37年半勤務)しました。いよいよ充実した第二の人生を進行中です。

(昭和40年卒 東京都 坂本吉通)

世界に仕事で出る事はもう無いと思っていましたが、意に反して、またぞろ国際的なビジネスにかかわることになりました。

(昭和41年卒 埼玉県 河西宜良)

平成15年度には、いよいよ会社の卒業です。来年の同窓会誌発行の頃には関連会社に勤務している事と思いますが、入社以来30数年間健康であった事を幸せに思います。還暦近い年令ながら健康に活動(仕事)できる事を幸せに感じます。

(昭和41年卒 広島県 橋本正樹)

幹事の皆様御苦勞様です。昨年9月に三井建設(株)を

退職し、昨年10月よりビル管理会社の(株)ウイングに勤務しています。ビル管理関係の資格を3年前より取り始め30位取得しました。その甲斐がありまして、ビル管理の仕事をスムーズに進めることが出来ています。健康面に気を付けながら、今後も充実した人生を過ごして行こうと思っています。

(昭和42年卒 埼玉県 島村公三)

中井・榊原研に所属していましたので、榊原先生の全快をお祈りしております。財政が改善されて良かったですね。今後も、より一層の改善の為、会誌と共に郵便振替用紙を入れてみてはいかがでしょうか。1,000円以上のご厚志にしたらもっと集まるのではないかと思います。私自身は毎年お納めしてもかまわないと思っていますが・・・母校のためですから。

(昭和45年卒 東京都 重富朝暉)

内閣の知的財産戦略の一環として、「学術・文化・産業 ネットワーク多摩」が7月6日に中大多摩校舎で発足式が行われ、多摩近隣の活性化に資するものと期待されています。我々行政書士仲間で、大学や研究機関で考案された知を具現化し世に出すように技術力のある中小の企業との橋渡しの仕事をしています。ものを造ることは楽しいですね。

(昭和45年卒 東京都 保坂早苗)

特許事務所開業後早8年がたちました。現在、元気でやっております。

(昭和47年卒 東京都 飯塚信市)

風力発電所のメンテナンスのため、ヨーロッパのメーカーとの打ち合わせ等に忙しくしております。風まかせの運転ゆえ技術者の思い通りにはなりませんが、

もっと使いやすいものになればとガンバッテおります。

(所和56年卒 神奈川県 沼田徹夫)

中央大学で学んだ基礎を生かして技術士試験に合格し、非破壊検査・計測の会社を設立して10年目を迎えました。社業の発展を夢見て忙しく過ごす毎日です。会社のHPもご覧下さい。

URL: <http://www.walnut.co.jp>

(昭和59年卒 東京都 齋藤 豊)

相変わらず、モータ用ブラシを製造しています。最近オフロードバイクを買いました。同級生とツーリングに行った頃が懐かしいです。

(昭和60年卒 埼玉県 手塚賢司)

金属16年目にして、今年8月に初めて転職を経験しました。通い慣れた職場を離れ、新しい環境で心機一転働いています。

(昭和61年卒 東京都 荒井あけみ)

2002年より、東芝のグループ会社である東芝マイクロエレクトロニクスに出向しています。半導体業界は依然不況が続いていますが、技術革新のペースが早く、忙しい毎日を過ごしています。

(昭和63年卒 神奈川県 細田浩希)

電気工学研究部と築山研究室のOB会メーリングリストを作っています。OB/OGの方で未参加の方、ぜひ kodaka@webtech.co.jp までご連絡下さい。

(平成1年卒 東京都 小高輝真)

先日、結婚しました。卒業以降、ずっと横浜で暮らしています。(平成6年卒 神奈川県 堀沢卓也)

H14.6.29 (土) に結婚しました。相手は1つ年下の
保育士をやっている人です。

(平成七年卒 東京都 本田信幸)

卒業してから中央大学宮城白門会へ参加しています。
これからも大学の発展を期待しております。

(平成12年卒 宮城県 高橋寛治)

《事務局から》

今年も多数の皆様から、貴重なご意見や近況を頂き
ありがとうございます。お寄せいただきましたコメン
ト、ご意見は、誤字・脱字を訂正したのみで、文字使
いや言いまわしをそのまま転載しました。

1年後の掲載となりますが、会員相互の交流の場と
して、今後もこの企画を続けますのでご支援下さい。

『編集後記』

昨年に引き続き編集を担当して感じたことは、原稿集めの大変さです。過去数十年にわたる市
川先生の御苦勞が身にしみて実感できました。

充実した読んで楽しい会誌にしたいと考えておりますので、どしどし投稿されるよう皆様のご
協力をお願い致します。

菅原さんの「市川山莊訪問記」は如何でしたか。皆様も白樺湖、美ヶ原方面にお出かけの際、
事前連絡して訪問されたいと思います。素敵な山莊ですよ。

11月8日(土)開催の「総会・懇親会」で皆様の元気な笑顔に会えるのを楽しみにしており
ます。

中大電気同窓会会誌 第40号 (2003年10月)

発行所 中央大学理工学部電気電子情報通信工学科同窓会

〒112-8851 東京都文京区春日1丁目13番27号

FAX (03) 3817-1847

URL : <http://www.elect.chuo-u.ac.jp/EEOB/qindex.htm>

発行・編集人 天 野 浩 志

同窓会総会・懇親会開催のお知らせ

平成15年度「同窓会総会」を下記の通り開催します。また、総会終了後には「懇親会」を開催いたしますので、多数の会員の皆様にご出席を賜りたくご案内申し上げます。

【記】

★総会ならびに懇親会

日 時：平成15年11月8日（土）午後2時～午後5時

受 付：午後1時30分 受付開始

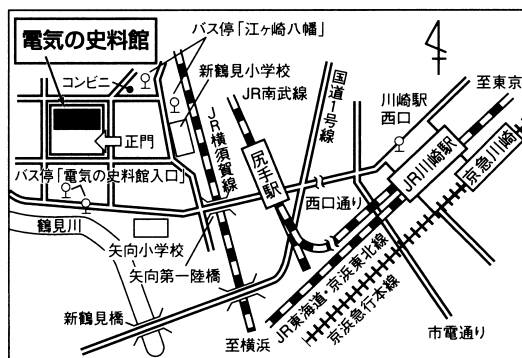
会 場：東京電力(株) 技術開発センター（神奈川県横浜市鶴見区江ヶ崎4-1）へ

電話：045-613-3020（佐野・昭和61年卒）

080-1018-5706（田口・昭和41年卒）

会 費：6,000円

【会場案内】



【総会前の2時間、耳寄りなお話】

総会会場内にある、平成13年12月にオープンしたばかりの「電気の史料館」の見学をお奨めします。（詳細は、会誌本文を参照）

会館時間：10:00～18:00

入館料：500円

（当日は団体割引 400円）

【アクセス】



●無料シャトルバス（左図）

（JR川崎駅西口東芝側通路下）

出発時刻 9:50 10:50 11:50

●路線バス（200円）川54、川53、57

（JR川崎駅西口または尻手駅より乗車）

「江が崎八幡」または「電気の史料館」下車

●タクシー

JR川崎駅西口より約10分1,000円

JR横須賀線新川崎駅約10分1,000円

お願い：返信用葉書にはお手数ですが50円切手を貼って10月末日までにご投函願います。